

# Career Up Stage

「歴史は繰り返す」歴史を学ぶと偉人の業績・名言が理解でき、過去の反省から将来の見通しが立ち、目標達成につながります。

# 信長・秀吉に学ぶ

## 織田信長



イタリア人画家シヨパンニ・ニコラオが描いた写実的な信長の肖像画。信長を知っている人の意見を聞いていた絵である。顧客を満足させる作品だとしてらると考えられる。

## 信長の名言には

- 生まれながらに才能のある者は、それを頼んで鍛錬を怠る、自惚れる。しかし、生まれつきの才能がない者は、何とか技術を身につけようと日々努力する。心構えがまるで違う。これが大事だ。
- 組織に貢献してくれるのは、優秀な者よりも、忠実な者の方だ。

## 信長成功の要因

1. 鉄砲の活用  
その時代の最先端テクノロジーを使いこなした者が、その時代の覇者になります。  
信長は、他国に先駆けて、当時最先端だった鉄砲を導入したからこそ、その時代の勝者となりました。  
当時の鉄砲導入は、現在でいうインターネットやAI活用にあたります。

## 2. 今までの常識を打ち破る

信長は、今までの慣習などの既成概念にとらわれずに、180度逆を見る感性を持っていました。新しい政策として楽市楽座やキリスト教を認めることは、現在制定されている独占禁止法や信教の自由になります。  
他にも、信長は、尾張、岐阜、安土と城を移動させました。それは、自分の領土が広がっていくと、領土の中心に城を移動させ、辺境の地を防備するという他の戦国大名にはない合理的な考えを持っていました。

## 豊臣秀吉



私が子どもの頃、「赤影」という忍者映画があり、「豊臣秀吉がまだ木下藤吉郎の頃」のナレーションで始まりました。何気なく覚えていたが、大人になって時代背景がよく理解できました。

## 秀吉の名言には

- 負けると思えば負ける、勝つと思えば勝つ。逆になろうと、人には勝つと言ひ聞かずべし。
- やるべき事が明確であるからこそ日夜、寝食忘れて没頭できる。
- 人の意見を聞いてから出る知恵は、本当の知恵ではない。

## 秀吉成功の要因

1. 「お客様満足度」を徹底追及  
有名な草履取りのエピソードは、信長を「お客様」に見立てたものでありました。秀吉にあったのは、「忠誠心」と「与えられた仕事を成し遂げる喜び」でした。  
信長の馬の世話を命ぜられていた頃、自分のお金を出して馬の好きな人参を買って来て食べさせていました。
2. 物事を抜本的に改善する力  
秀吉が炭薪奉行に抜擢された時、冬場の炭薪の使用量を減らし、維持管理コストを削減しなければなりません。  
「兵士や家臣が部屋の中にいることが根本的な問題」として、冬場の過ごし方を変えました。武術鍛錬の日課を与え、室内にいる時間を少なくしました。その結果、炭薪の消費量が軽減されるとともに、信長軍の兵力増強にもつながりました。
3. 「人を動かし、活かす」  
信長の居城だった清須城の堀と石垣の補修工事の現場監督に指名された秀吉は、信長に「3日で完成できる」と約束しました。  
秀吉は、500人の作業員を10班に分けて責任範囲を明確にし、「早く完成した班には褒美を取らせる」と、競争心をあおりました。  
「作業の分担」、「責任の明確化」、「競争原理」によって、工期の短縮を図りました。
4. 常識を打破する柔軟アイデア  
例えば墨俣城築城の際の、「安全なところで材料を仕上げ、川の上流から流し、現場で拾い上げ、組み立てる」というアイデアは、現代のプレハブ工法の先駆けと言えます。秀吉は、他の武将が思いつかないアイデアを駆使し、信長に尽くしました。  
信長、秀吉ともに共通して言えることは、誰も思いつかない発想と強い信念で、天下統一事業を成し遂げていま

す。信長は現在では常識である信教の自由を認め、中央集権国家の形成を目指しています。一方、秀吉は事を成し遂げる為の創意工夫があり、常に考えて行動していることが分かります。  
今後の学習活動を行う際には、柔軟な発想と強い信念で行動することが必要です。



高校入試説明会(9月20日)

## 家庭の習慣にも歴史がある？

親の代に起こったことが、自分の家族の中でも繰り返されていますか。例えば、同じような病気や怪我をするとかです。なぜ、繰り返されるのでしょうか。決して先祖の因縁などではありません。それは、親から代々伝わり、繰り返される生活習慣やクセが、同じような現象として自分の代に現れているかもしれません。  
ある家庭では、朝出かけるギリギリまで家族全員が寝て、夜遅くまで全員起きています。その家庭は、生活の基本がズレてそれが代々続いていることがあります。  
歴史は繰り返すという言葉をよく聞きますが、家庭の歴史も繰り返されています。しかし、気づいた人が、心で思ったことを強い意思を持って実行すれば、家庭の良くない歴史を変えることができます。  
現在、沖縄県教育委員会では、「家～なれ～運動」を推進しています。沖縄の黄金言葉(くがにくとうば)に「や～なれ～るふかなれ～」とあるように、家庭での習慣が、外に出たときのかがみになります。家庭習慣の大切さを再認識し、三点固定(起床時間・学習時間・就寝時間)を心がけ、規則正しい生活習慣を身につけ、自己節制力を強化しよう。